

学位論文審査結果の要旨

学位申請者 氏名	Luong Thi Dan
審査委員	主査 鹿児島 大学 准教授 坂井 教郎
	副査 鹿児島 大学 教授 田代 正一
	副査 佐賀 大学 准教授 辻 一成
	副査 佐賀 大学 教授 藤村 美穂
	副査 琉球 大学 教授 内藤 重之
審査協力者	印
題目	The Role of Women in Farm Households in Vietnam -An Analysis of Women's Contribution and Decision-Making- (ベトナムにおける農家女性の役割－女性の貢献度と意思決定の 分析－)
<p>農家女性は、途上国の農業生産および農村生活において重要な役割を果たしていることが確認されているが、先行研究では具体的な農業経営を対象とした分析は少なく、農業経営における女性の役割とその所得への影響については十分に明らかにされていない。農家女性の研究の深化のためには、これらの点へのアプローチが不可欠である。</p> <p>本研究では、ベトナムの山岳地域であるバクザン省における320戸の畜産農家の調査をもとに、女性の農業経営への貢献度と意思決定、およびそれらと農業所得との関係を分析することにより、農業経営に女性が関わることへの影響とそのメカニズムを明らかにする。具体的には次の4点について検討した。</p> <p>第一は、女性の農業経営への関わりと、その農業所得への影響についての分析である。第二は、女性の農業経営への貢献度の計測である。第三は、女性の農業経営における意思決定の状況を把握し、その農業所得との関係を明らかにする。第四に、女性の農業経営への貢献度と意思決定との関係について考察する。</p>	

分析の結果、以下の点を明らかにした。

第一は、ベトナムの山岳地域では、畜産が農家の主な所得源であるとともに、持続可能な所得をもたらしていることである。また女性労働力の存在が農業所得へプラスの影響を与えていることも統計的に確認できた。

第二は、家畜の飼養に費やす時間および収穫した飼料の金額評価のいずれにおいても女性の貢献度が男性より高いということである。ここでは女性労働力による労働時間の金額評価だけではなく、その成果についても具体的に計測した点に特徴がある。

第三は、女性の意思決定への関与が大きくなるほど農業所得へプラスの影響を与えるが、多くの場合、女性は農業経営におけるマイナーな決定にのみ関与し、大きな決断や重要な取引における意思決定への関与は少ないことである。さらにこの分析では、世帯規模、女性労働力の年齢、民族、農業労働時間、男性の農作業への参加の有無なども女性の意思決定に影響することを特定した。特に少数民族における女性の意思決定への関与の弱さについての指摘は重要である。

第四は、農業労働力が1名の場合を除けば、女性の農業労働時間が意思決定の関与にマイナスの影響を与えることである。またその傾向は世帯の農業労働者数が多くなるほど強くなることから、農業への過剰労働力の存在が女性の意思決定に悪影響を及ぼすことも明らかにした。

またこれらの分析からの農家女性の役割向上のための政策含意として、少数民族への施策の必要性および過剰労働力対策としての農外の労働市場の整備を指摘した。

以上のように、本研究は途上国の貧困地域における女性の農業経営への貢献度と意思決定の状況を、膨大な農家調査により把握・計測するとともに、両者の関係、およびそれらの農業所得への影響を定量的に明らかにし、途上国の農家女性に関する研究の進展に貢献した。よって博士（農学）の学位論文として十分な価値を有するものと判定した。